

作成:福祉推進課 横島

古河市福祉推進課の横島でございます。いつの間にか12月になり、今年もあっという間の1年だったと感じています。

個別避難計画に携わる方々、その他福祉・医療関係者の方々、今年も大変お世話になりました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

【今回のコンテンツ】

1. 第 24 回都市防災推進セミナーの出演について
2. 災害時の情報取得について
3. 地震への備えの重要性について



1. 第 24 回都市防災推進セミナーの出演について

公益社団法人全国市有物件災害共済会が主催する「第 24 回都市防災推進セミナー」の動画が配信されています。古河市での個別避難計画作成の取組について講演を行いましたので、ぜひご覧ください。

「個別避難計画作成の制度の企画立案から実施(3年経過後)までの課題とその対応について」
古河市 福祉部 福祉推進課 課長 池澤健嗣

動画は下記 URL か右側二次元コードよりご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=uo5OVQhS9Z8>

視聴期限:12月28日(水)



2. 災害時の情報取得について

災害時にはライフラインが寸断されたり、食料や水が不足するなど、普通の生活では考えられない事態が起こります。そのような状況で正確な情報を把握できるかは、時に生死にかかわる問題となります。

災害時の情報を取得するには、様々なものがありますが、テレビやスマートフォンはライフラインが切断されると使用できなくなったり、本当に必要な情報が手に入りにくかったりします。そのため、災害時に備え、持ち運びできるラジオの準備をお勧めします。

ラジオの利点

- ・電池や発電等で使用でき、停電時でも利用できる。
- ・持ち運びができる。
- ・電波が届くところであればどこでも利用できる。
- ・フェイクニュースやデマ情報に惑わされない

※平成 28 年熊本地震に発生した熊本地震では「動物園からライオンが逃げた」というフェイクニュースが Twitter に投稿されました。

- ・地域ごとの状況に応じたきめ細やかな情報(支援情報、ライフライン等)を提供してくれる。

※全国放送のテレビでは、被害の大きかった地域や市街地などの情報に偏りがちで本当に必要な情報が取得できないこともあります。



用意するだけでなく、事前に受信できる周波数などを確認しておきませんか。

関東地方のラジオ放送事業者と周波数の一覧は下記から確認できます。

- 総務省ホームページ

<https://www.soumu.go.jp/soutsu/kanto/bc/radio/list/index.html>



それ以外の非常時の持ち物については下記から確認できます。

- 古河市ホームページ

<https://www.city.ibaraki-koga.lg.jp/soshiki/shobou/sonaeru/15230.html>



3. 地震への備えの重要性について

1月17日は阪神淡路大震災の発生した日です。

近年でも頻繁に大きな地震が起こっていると感じませんか。

今後想定される南海トラフ地震や首都直下型地震をはじめとした大規模地震に、私たちが被災するという心構えで平時から備えておくことが重要です。

明治以降、日本で1,000人以上の死者・行方不明者を出した地震・津波

	発生年月日	マグニ チュード	地震名	死者・行方不明者	津波
1	1891/10/28	8.0	濃尾地震	死者7,273	
2	1896/6/15	8.2	明治三陸地震	死者21,959	有
3	1923/9/1	7.9	関東地震（関東大震災）	死・不明10万5千余	有
4	1927/3/7	7.3	北丹後地震	死者2,912	有
5	1933/3/3	8.1	昭和三陸地震	死・不明3,064	有
6	1943/9/10	7.2	鳥取地震	死者1,083	
7	1944/12/7	7.9	南東海地震	死・不明1,183	有
8	1945/1/13	6.8	三河地震	死者1,961	有
9	1946/12/21	8.0	南海地震	死・不明1,443	有
10	1948/6/28	7.1	福井地震	死者3,769	
11	1995/1/17	7.3	兵庫県南部地震（阪神・ 淡路大震災）	死者6,434 不明3	有
12	2011/3/11	9.0	東北地方太平洋沖地震 （東日本大震災）	約22,152	有

死者・行方不明者が1,000人以上の大震災は120年で12回

⇒平均すると、10年に1回

いつ大きな被害をもたらす地震が発生してもおかしくない

※気象庁

※「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会」第1回

※平成29年9月1日現在：消防庁平成29年9月8日(金)14:00、平成23年東北地方太平洋沖地震について(第156報)

日頃の備えを大切に！

●家具等の固定

- ・家具等が転倒しないよう、壁に固定する
- ・ベッド頭上、高い場所にもものを置かない
- ・暖房器具の転倒防止



●避難場所・避難経路の確認

- ・ハザードマップなどから避難場所、避難経路などを確認
- ・個別避難計画の確認(作成済みの方)

●出火・延焼防止に係る装備の確認

- ・住宅用消火器等の準備、使用方法の確認
- ・火災警報器の電池切れ等の確認



●備蓄・装備の確認

- ・飲料水、食料、燃料、携帯トイレ
- ・携帯ラジオ、予備バッテリー、携帯電話のバッテリー
- ・防寒着、毛布
- ・必要に応じて薬など